

様式4

学校番号 ( 中 1 5 ) 学校名 ( 光が丘第一中学校 ) 教科名 ( 英語 )

指 導 技 術		観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		コミュニケーションへの関心・意欲・態度を向上させるための手だて	表現の能力を向上させるための手だて	理解の能力を向上させるための手だて	言語や文化についての知識・理解を向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業チャイムと同時に、小テストの勉強や宿題の点検等を行い、チャイム着席ができるよう指導する。</li> <li>・文法のポイントや語彙の導入も英語を「聞かせる」「推測させる」ことを通して行う。</li> <li>・生徒たちと英語でインタラクションしながら文法や語彙を導入していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちの興味・関心や、その時期にあった身近な話題を用いて導入する。</li> <li>・絵や写真など視覚に訴える教材を多く用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や基本文の小テストを定期的に行い「表現の能力」の土台になる語彙力や構文の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語力の向上を図るため単語テストを実施する。</li> <li>・生徒たちが身近な生活の中で体験している場面と結びつけて理解できるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードなども用いて板書などを工夫して行い、大切な表現などを理解させる。</li> <li>・質問できるクラスの雰囲気づくりに努める。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちにより多くのスピーキング、リスニング、ライティングの機会を与える。</li> <li>・英文の内容が理解され、イメージが出来たら、基本文の練習や本文の音読練習、発話内容の書き取りなどの活動を行う。</li> <li>・インタビュー活動など、文法のポイントを使ったコミュニケーション活動を展開する。</li> <li>・コミュニケーション活動の確認やフィードバックを行う。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動のねらいや目標を生徒にわからせながら授業を進める。</li> <li>・日常生活と関わりのある題材を多く取り入れる。</li> <li>・プリントやノートを活用し、生徒たちの意欲を奨励し、評価していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークを多く取り入れ、発話回数を増やす。</li> <li>・音読を十分に行い、正しい発音や流暢さを身につけさせる。</li> <li>・特にALTとの授業では自分の考えを述べたりする機会を多く与える。</li> <li>・和英辞書を活用しより自分が表現したい英文を書いたり言わせたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味のわからない単語や熟語等は積極的に質問させる。</li> <li>・読解力を高めるため、重要表現となるものはワークブック等で繰り返し練習させる。</li> <li>・リスニング力向上のためにもCDを繰り返し流すなどしてディクテーション活動を多く展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や写真、実物、ジェスチャーなどを用いる。</li> <li>・音楽や映像を通して英語圏の文化に慣れ親しむ。</li> <li>・教師が実際に訪れた海外の国に関してクイズ形式で出題し異文化への興味関心を高める。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容理解や音読のあとに、視写、暗写、ディクテーション、英作文、自己表現など書く活動の時間を確保し、習慣化する。</li> <li>・練習用プリントやノートを活用する家庭学習につなげる。</li> <li>・スピーチやレシテーションを行い、音読に関する家庭学習につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が家庭学習で予習、復習、自主学習などに自発的に取り組めるよう課題プリントなど工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の後に重要表現等を繰り返し音読、暗唱させるなどして発音のポイントや抑揚等理解させ、家庭学習へつなげさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本文の確認や練習問題、演習問題で最終確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文や文法事項等、1時間の授業で学んだポイントをワークや板書を写したノートを用いて確認する。</li> </ul>